

# 教育哲学研究

第 105 号

2012

## 研究討議 教育における正義とケア

教育における正義とケア——「教育の文脈」で再検討することの意義——

.....生田久美子

教育における正義とケア——その基本的構図——

.....片山 勝茂

教育における正義とケア

——ケアおよびケアリング倫理が教育にもたらしたもの

.....伊藤 博美

指定討論者の報告

.....広岡 義之

研究討議に関する総括的報告

.....林 泰成／中野 啓明

## 課題研究 教育はどのように問われるべきか

教育はどのように問われるべきか

——教育と福祉の関係を手がかりとして

.....今井 康雄

教育はどのように問われるべきか

——大学「教育」概念の歴史的再構成に向けて——

.....松浦 良充

教育はどのように問われるべきか

——生成と発達の教育人間学再考——

.....矢野 智司

問いの地平をひらく教育哲学

——今、あらためて歴史・理論と向き合う——

.....綾井 桜子

教育はどのように問われるべきか——コメントと考察

.....生澤 繁樹

課題研究に関する総括的報告

.....藤川 信夫／森田 尚人

## 論文

ヘンリー・ジラーのクリティカル・ペダゴジーにおける政治理論と教育理論のつながり

——押しつけという批判に応答するために——

.....市川 秀之

子どもの自由制約原理としてのパターンリズム——その諸正当化モデルの検討——

.....帖佐 尚人

マスメディアの拘束に対するメディア教育の可能性について

——D. バッキンガムのメディア教育を中心に——

.....時津 啓

徳倫理学の再興序説としてのアンスコム行為論

——多元的社会における教育哲学への示唆——

.....山口 裕毅

モンテッソーリ教育における生態学的思考

——「科学的教育学」と「宇宙的教育」の接点として——

.....米津 美香

## エッセイ

道楽

.....加藤 守通

## 教育哲学を考える

再帰的近代における民主的教育

.....加賀 裕郎

## 研究状況報告

思想課題としてのディルタイ

.....舟山俊明／瀬戸口昌也／走井洋一／齋藤智志

三・一一以後の教育哲学

.....森田伸子／馬上美知／矢田訓子／加藤守通

## 書評

中田基昭著『表情の感受性——日常生活の現象学への誘い』

.....今井 康雄

## 図書紹介

石戸教嗣、今井重孝編著『システムとしての教育を探る——自己創出する人間と社会——』

.....田中 智志

岩瀬真寿美著『人間形成における「如来蔵思想」の教育的道徳的意義』

.....鬢櫛久美子

柴山英樹著『シュタイナーの教育思想 その人間観と芸術論』

.....眞壁 宏幹

高橋勝編著『子ども・若者の自己形成空間——教育人間学の視線から——』

.....高松みどり

苫野一徳著『どのような教育が「よい」教育か』

.....生澤 繁樹

中桐万里子著『臨床教育とく語り> 二宮尊徳の実践から』

.....川村 覚昭

オットー・フリードリヒ・ボルノー著 岡本英明訳『畏敬』

.....瀬戸口昌也

松下良平著『道徳教育はホントに道徳的か?——「生きづらさ」の背景を探る——』

.....渡邊 満

宮澤康人著『<教育関係>の歴史人類学——タテ・ヨコ・ナナメの世代間文化の変容——』

.....鳥光美緒子

## 学会報告・第54回大会報告

## 欧文摘要

教育哲学会